



二葉だより

令和6年1月9日 NO.9
墨田区立二葉小学校
校長 山崎 隆



本年もよろしくお祈いします

校長 山崎 隆

令和6年辰年を迎えた1月1日に石川県能登地方で最大震度7の地震が起きました。被災された方々の日常生活が一刻も早く戻ることを願うとともに、自然災害に対する日頃の備えについてあらためて考えさせられた元旦でした。

はじめに、お正月らしく「児童の作ったカルタ」を紹介します。これは19年前の開校100周年記念誌「ひとつばたご」に掲載された作品です。今年25歳から31歳を迎える当時の子供たちは、きっと各方面で活躍されていることでしょう。

1年生

こうていで おおなわとびは たのしいな
ジャングラミン のぼってすべって たのしいな

2年生

学校の 町たんけんは 楽しいよ
ミニトマト たいようよりも あかいかお

3年生

ママの宝物は ぼくたち 三兄弟
お母さん このごろねぶそく どうしたの？

4年生

国技館 おすもうさんは はっけよい
すみだ川 夏は花火で 春桜

5年生

二葉小 ゴミをへらそう リサイクル
分けようよ ゴミの分別 守ろうよ

6年生

伝統の おはやしひびかせ 二葉の子
叶えよう みんなのステキな 夢おおく

- ・当時の1年生は、ジャングルジムや滑り台がついた「ジャングラミン」という遊具で遊んでいたようです。
- ・現在の2年生も生活科で町たんけんに出かけたり、ミニトマトの栽培を行っています。
- ・3年生は、家族がテーマになっています。家族の絆やお母さんを気遣う優しい気持ちをカルタに表しています。
- ・4年生は、地域の様子をカルタに詠んでいます。国技館や隅田川の花火は全国的な名所・名物ですね。
- ・5年生は、当時も現在も総合的な学習の時間に環境問題に取り組んで学習を深めています。
- ・伝統の二葉ばやしは、学校生活の中でも6年生の心に深く刻まれています。また、当時の6年生みんなの夢は、19年後の今、どのように叶っているのでしょうか。

新年にあたって、現在の二葉小の子供たちの成長にも思いを馳せたいです。

次に、2024年は西暦が4で割り切れるうるう年です。1年は地球が太陽の周りを1周する期間にあたりますが、日数にするとぴったり365日ではなく、4年分で約1日分長くなるのだそうです。そのため、4年ごとに「2月29日」を設けて調整しています。しかし、この約1日もぴったり24時間ではないため、「2100年のように100で割り切れる年は平年とする」や「2000年のように400で割り切れる年はうるう年とする」という複雑なルールで誤差を解消しています。これは、16世紀のローマ教皇グレゴリウス13世が定めた「グレゴリオ暦」が由来となっているのだそうです。また、プラス1日が「2月29日」であるのも、古代ローマの暦では1年の終わりが2月だったため、うるう年には「2月29日」を設けたとされています。今年はずっとより1日多く、子供たちの成長を見守ってまいりましょう。本年もよろしくお祈いいたします。